2023 年度の CSR 活動目標

ISO26000 中核主題	2023 年度 CSR 活動目標
組織統治/社会的責任の認識と組織全体への統合	全社・グループ企業に対しての取組み・活動 • サステナビリティに関する課題と対応の周知・サステナビリティ活動推進。 • 情報セキュリティへの意識レベル向上のための教育の継続実施。 • 情報セキュリティにおける内部監査の実施。 委託先に対しての取組み・活動 • CSR に関するアンケートの継続と周知及び浸透状況の確認。 • CSR アンケートを基に、委託先との対話・意見交換を実施。
人権	社内及びグループの人権リスクを網羅的、体系的に把握・分析するために、人権デューデリジェンスの実施に関する検討を開始する。
労働慣行	ワークライフバランスのさらなる推進 年次給休暇の取得促進 • 本年度も引き続き年休取得 8 日以上取得を維持。 • 一般事業主行動計画でも目標を掲げている年休の時間単位取得導入に向けた準備を労組と協議。 柔軟な働き方の支援 • サテライトオフィスの周知、及び利用促進に資する認知活動の実施。 • 新たな拠点へのサテライトオフィスの拡充を目指す。 時間外労働時間の削減 • 時間外削減協議会を通じて、事業部特有の諸問題・課題等を事業部と支部において協議し、業務の改善を図り、時間外労働時間の低減に繋げる。

	• 勤怠管理システムを有効活用し、時間外労働時間管理の徹底を図り、協定違反を発生させない。 女性活躍推進 1. 2025 年度 3 月時点で女性の主任以上の役職者 10%に向けた取組み • 女性リーダー教育（外部研修）の機会の提供。 • 育児を目的とした在宅勤務の利用促進。 2. 男性社員の育児休業取得率の維持、向上に向けた取組み • 男性社員の育児休業取得率 50%以上を目指し、男性の育児への参画に取り組む。（2022 年 4 月から 2023 年 2 月までの男性社員の育児休業取得率は 53%） くるみん申請 • 申請が受諾された場合は、更新に向けた活動の実施。 労働災害の撲滅
環境	• エネルギー使用量の 2022 年度比 1%以上の削減。 • 水使用量の 2022 年度比 1%以上の削減。 • 廃棄物総排出量の 2022 年度比 1%以上の削減。
公正な事業慣行	• コンプライアンス研修の全役職員受講によるコンプライアンス規範の周知・徹底。 • コンプライアンスホットライン制度のグループ内での拡充。 • グループ全体に関連する重要な法令改正の周知・徹底。
消費者課題	• 安全管理体制及び品質保証体制の基盤構築及び継続的な改善。
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	• 全社・グループ企業における地域社会貢献活動の推進。